



阿部 政昭さん

来るお客さんは、新鮮さがとても気に入っているようです。関西から来たおばちゃんたちの会話は、まるで喜劇を見ているようで自分でも楽しんでる。外人も多く英語がまったくだめなので戸惑うこともしばしば。全国各地の人と出会えるし、スタッフの一人としてこれからも頑張る。



▶今シーズンだけでも一万人の乗客が訪れ、にぎわいを見せるストープ列車

## “地吹雪じいさん”と

## 呼ばれるまで

はじめたころは四、五年はやれると思っていたが、ここまで続くとは…。印象に残るツアーとしては、平成二年の「ワールド・ブリザード・ツアー」が思い出されます。言葉の通じない外国人が来てくれて、地吹雪体験ツアーを楽しんでくれました。

観光客の方々は、近代化、近代化と呼ばれる中に、“日本のふるさと”を求めているように思います。今は交通条件も整備され、「北がブーム」であることをここ五年ぐらい

前から感じていました。最初の二、三年はスタートしたものの、元に戻るのではなくスタートラインのもっと後ろに押し返されました。それでも、やっていくうちに二歩下がっても三歩進むようになり、今年でちょうど十歩ぐらい前進したのかなあと思います。

観光客の方々は、近代化、近代化と呼ばれる中に、“日本のふるさと”を求めているように思います。今は交通条件も整備され、「北がブーム」であることをここ五年ぐらい



▲津軽地吹雪会代表 角田周さん

これは、いろんな人との出会いや触れ合いができました。この十二年間の財産は「人」です。雪はきれいなもので、吹雪いている時の青空は何とも言えない美しさがあり、藤枝に行ったら見られますよ。今後は、お世話になった人たちに恩返しをしなければと考えていますので、質を求めて頑張ります。ここ数年、今年だけと思うこともありすが、あと一年、あと一年で気が付いた時には、“地吹雪じいさん”と呼ばれているかも知れません。

でしまったり、雪まみれになりながら子供のようにはしゃいだり、どうなるものかと見守るスタッフたちの目前で、笑い声があふれていました。見るべきものがないとされてきた金木の冬の観光に、かすかな光りが見えた瞬間でした。その後、この日の朝にあった出来事などどれも知らず、馬ソリや雪中リング探しゲームを楽しみました。

雪に触れ、雪に親しみ、雪を楽しみ、雪の降る地ではあたり前過ぎることが、ツアー客の皆さんには新鮮で味わうことのできない貴重な体験だったようです。一通り雪と戯れた後は、津軽の郷土料理・じゃっば汁に舌鼓を打ちながら冷えきった体を温めます。この模様が全国放送されたことで、アンコールツアーを開催するまでになり、反響の大きさに関係者は今までの苦労が報われた思いを体で感じています。地吹雪体験ツアーは立派な冬の観光の目玉として認められたことでもありました。そこには、数多くのスタッフの支えがあり励まし

があり協力がありました。断られても断られてもぎ折せず、失敗を繰り返しながらも立ち上がり、七転八起の精神で頑張ってきたことが成功へとたどり着いたように思われます。一步一歩前に進み、継続は力なり”を証明してくれました。今年の地吹雪体験ツアーのオーブニングには、三沢市の米軍基地でハイスクールの教師をしている人たちが招かれました。もちろんストープ列車に揺られながら、それからモンペ、かんじき、角巻き、地吹雪ルックに身を包み、十二年前と同じ角田さんの一言、「レッツゴー」の合図でスタートしました。

最後に、地吹雪体験ツアー、今ではオプション化したストープ列車、津軽弁講座など、このイベントのさらなる飛躍を期待しながら、今年のオーブニングの案内状の一部を紹介いたします。「ウォーリー先生のアメリカン・ブリザード」Part12、主催・津軽地吹雪会、協力・金木町、津軽鉄道、そして「金木町のボランティアの素敵な皆さん」。

まちのびる

第十九回

凧揚げ大会



▲準備を整え合図を待つ参加者

第十九回金木町凧揚げ大会が一月十七日、中央公民館前の広場で行われ、津軽地方一円から結集した百五十人の凧自慢が腕を競いました。

大会は、伝統の津軽凧を次世代に引き継ぐことを狙いに行われました。昨年は雨天のため中止され、二年ぶりの開催となった今回は、身を切ら

れるような寒さでしたが絶好の風が吹き付け、凧を手にした参加者は力をみなぎらせていました。

合図とともに「ゴォー」という、うねりをあげて舞い上がる凧、途中でバランスを崩し落下する凧など思い通りにならない糸さばきに一苦労する場面もありましたが、次第に風を捕らえて勇壮な武者絵巻の凧が新春の大空を舞っていました。

道場開き

—金木柔道会—



▶初げいこで汗を流す子供たち

金木町農業者トレーニングセンターで一月十二日、金木柔道会（会長 金本敬夫）が年頭の道場開きを行い一年間の健康と安全を祈願しました。道場開きには、四歳児から中学生までの会員二十人が参加し、柔道着に着替えた子供たちは神事を行い、おはらいを受けて今年の活躍を誓っています。

ました。

引き続きコーチらの指導を受け柔軟体操で体をほぐした後、元氣良く掛け声を出しながら投げ技や寝技の練習をして初げいこに汗を流していました。指導に当たっている三上昭彦コーチ（板柳町）は、「消極的だった子供たちが柔道を始めから積極的になっている。中には、ぜん息だった子がここで体を鍛え完治し健康を取り戻した」と話していました。

あしの園を慰問

喜良市老人クラブ

手袋や靴下カバーをプレゼント

喜良市老人クラブ（会長 木田忠雄）の女性会員が一月二十七日、手作りのタオルや靴下カバーを特別養護老人ホームあしの園（園長 中谷衛）に贈り、お年寄りたちに喜ばれました。

地域福祉の手助けをしたい、と同老人クラブでは使い古した寝具やセーターを持ち寄りたり、知人から譲り受けたりして毛糸や布などの材料を集めました。昨年十月からリフ



▲プレゼントされた手袋をち着けて喜ぶお年寄りたち

六十五歳から九十八歳まで五十人が入園している同園の中谷園長は「全員が手作りプレゼントをもらうのは初めて。善意に感謝し、大切に使用してもらいます」と話していました。

また、老人クラブ会員の皆さんは同園のホールで手踊りや歌を披露し、お年寄りたちと交流を深めていました。

# 百人一首大会

## ―金木地区子ども会育成連合会―



▲上の句に耳を澄ませる子供たち

金木地区子ども会育成連合会（会長 大橋次夫）主催の「百人一首大会」が一月十日、中央公民館で開かれました。

今年で二十三回目を迎える大会には、幼児から中学生までの三十三人が参加して団体戦、個人戦に白熱した戦いを繰り広げました。

れた札を前に正座した子どもたちは、読み上げられる上の句を真剣に聴き入り、並べられた下の句の札をいち早く取り合い、一首一首に一喜一憂していました。

参加した中学生の一人は「国語の授業で和歌を学んでいたので百人一首も親しみやすかった」と話し、父兄から「日本の伝統行事に興味を持って、もっと多くの子どもたちが参加してくれば」と呼び掛けていました。

# 遊びながら学ぶ かるた大会 ―金木幼稚園―



▲札を見つけた瞬間、元気よく「ハイ！」

「ぬいだふく、きちんとたんで、しまおうね」。金木幼稚園（園長 片岡八千雄）で二月一日、「かるた大会」が行われ、園児たちの元気な歓声が飛び交いました。

これまで同園ではこの時期に、雪上運動会を行っていましたが風邪をこじらす子供がいるため、ここ三年余りは中止されてきました。そこで思いついたのがかるた大会。

「ちょうど文字に興味を持つ年齢なので」と話す片岡園長は「遊びながら学習にもなる」と、一石二鳥になることを話していました。

三歳児から五歳児までの七十六人が、「なぞなぞどうぶつかかるた」「お話かるた」「お約束かるた」のうち年齢に応じて分かれ、保育さんが読み上げる句を正座しながら静かに聴き入り、見つけた瞬間には「ハイ！」と元気な声を出しながら札を獲得し、隣の子供たちと枚数を競い合っていました。

# 金木名物「どかまけの日」

## 人間ばん馬ダービー大人気！

協同組合・金木あすなる商店会（理事長 秋元和雄）が主催する年に一度の大特価大売出し、金木名物「どかまけの日」が二月六、七日に行われ、大勢の買物客で町内がにぎわいました。

物などをすると、千円毎に一枚のお祭り参加券がもらえるようになっていきます。

加盟しているのは、呉服店や電気店、美容院など四十五店舗。それぞれの商店で買

お祭り参加券は七日、特設会場の役場前で二枚でソバ一杯か、一枚一口で一獲千金をねらう「人間ばん馬ダービー」の投票券になります。出場する七人が、トラック用のタイヤを引っ張りながら雪で作った障害物コースを周回し、競馬のように一、二着の順位を当てるもので、的中させた人たちは総額五十万円の商品券を分け合っていました。



二日間、お祭り参加券が一万枚以上使われ、総額一千万円以上が町内で消費されたことになりました。

声援を受けながら力走する選手たち

また、どかまけの日や仁太坊まつりなど地域に密着したイベントを実施していることが認められ、青森県明日の商店街づくり事業実行委員会主催の平成十年度まちづくり取り組み団体部門で同会が知事奨励賞を受賞しました。

# 太宰をしのぶ ⑩ 太宰治と生家 (1)

金木町太宰会々々  
木下 巽

今回から太宰さんの生家、  
〔源〕旧津島邸・現「金木町太宰治記念館『斜陽館』」を案内してみます。本稿はあくまでも「太宰をしのぶ」がテーマですので、太宰文学の原点と言われる生家の理解と、太宰さんの心情や作品に触れるように記してみます。

## 「小間」で誕生

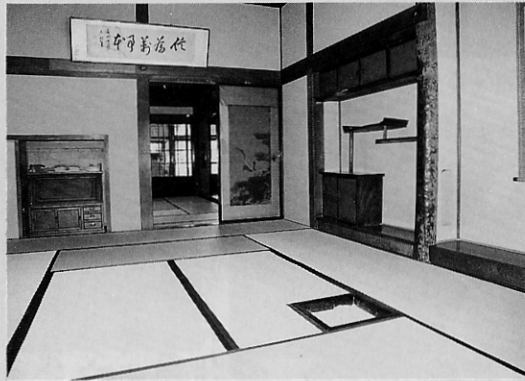
明治四十年六月に新築された津島家。その二年後、この大邸宅で生まれた最初の子であった太宰さんは、どの部屋で生まれたのでしょうか。これを表現する具体的な記録は見あたりません。そこで、太宰作品と諸記述から考察を試みました。

太宰さんは『六月十九日』（昭和一五）と題する随筆の中で、「：私の生まれた日は明治四十二年の六月十九日である。私は子供の頃、妙にひがんで、自分を父母のほんたうの子でないと思ひ込んでゐた事があった。（略）家に入りにしてゐる人たちに、こっそり聞いて廻ったこともある。

その人たちは大いに笑った。私がこの家で生まれた事を、ちゃんと皆知つてゐるのである。夕暮れでした。あの、小間で生まれたのでした。ひどく安産でした。」と、述べています。したがって、「あの、小間」とは、どの部屋なのかということになります。

まず二階はいろいろ不便ですので、当然一階に限られます。離れ座敷は、大正十一年の建築ですから問題外です。一階で小間と見られるのは、ま

ず西通りに面した和室八畳間です。この和室は、金銭的店舗執務室（洋間）の奥になっていきますので産室には適当ではありません。残りは裏階段北側の和室十畳間になります。この和室は、現記念館資料には「主人室」と書かれています。確認はありませ



▲太宰が誕生したと思われる「小間」  
叔母の4人の娘と一緒に暮らした10畳間

ん。この部屋は、場所的には「常居」と「板の間」に通じていますので、産室には便利な個室だと思つたのです。作品『故郷』（昭和一八）を再読してみますと、「：私

は見舞客たちにみられないやうに、墓所のはうから、こつそりはひつて、離れの病室に行きかけて、ふと「常居」の隣の「小間」をのぞいて、そこに次兄がひとり坐つてゐるのを見つけ、こはいものひ

きずられるやうに、するすると傍へ行つて坐つた。：と、「常居」の隣が「小間」であるとはつきりと書いています。重態の母親の見舞いと、生家の部屋名ですので虚構性希薄とみれば、和室十畳間が太宰誕生の「あの、小間」にあたると思ふのです。

## 太宰と叔母

また「あの、小間」という表現の中には、幼少の頃からの「思い」が込められていると思うのです。大正十二年二月四日に書いた作文『僕の幼時』に、「僕は母から生れ落ちると直ぐ乳母につけられたのださうだ。けれども僕はをしいかな其の乳母を物心地がついてからは一度も見た時もない。物心地がついてからといふものは叔母にかゝつたものだ。」と書いています。生

後まもなく母親の健康上の都合により、乳母（佐々木さよと推定）の手に委ねられます。しかし、この乳母に縁談があり、一年足らずで津島家を去ります。太宰さんは一歳（もしくは一歳半）で、叔母さまにより育てられることになり、叔母は、最初の夫と離縁し、二番めの夫と二

十八歳で死別したあと四人の娘と生家で暮らしてました。このような事情により、家を不在がちであった父母の代わりに、親の役割りを果たしたのが叔母さまさんであったのです。

子守だったタケさんの談話が『国文学』（昭和四九・二）に載っています。「ガッチャ（叔母）の部屋は、裏階段を上がるところの右の十畳間で、そこにガッチャの娘さん四人と修ちゃんと一緒にいました。」と語っています。この十畳間が、幼い太宰さんと、叔母とその娘さんたちが、共に暮らした思い出深い「あの、小間」：だったのです。

長部日出雄氏は『太宰治への旅』で「叔母さまは太宰の最初の文学的な母だったとおもうのです。」と語っています。叔母が添い寝し、津軽の昔噺「長え長え昔噺、知らへがな：」と、聞かされて育った太宰さん、「生まれてすみません」「罪、誕生の時刻に在り。」「二十世紀旗手」昭和一二」という名言と重ね合わせると、太宰生家の十畳間の「あの、小間」は、太宰文学の母胎になると思ふのです。

金木病院カルテ (155)

# 外来血圧の限界と 外来待ち時間の 自動血圧測定

内科 都谷 森 弘

近年、降圧薬による血圧のコントロールについて外来血圧 (office blood pressure: OBP) のみをめやすとするのではなく、家庭で自己測定した血圧 (家庭血圧 = home blood pressure: HBP) や携帯式自動血圧計による自由行動下血圧測定 (ambulatory blood monitoring: ABDM) を含めたよりきめの細かい評価が重視されるようになってきています。

## 外来血圧の限界

これまで行われた、高血圧治療のための研究はすべて OBP を基準にしてきており、OBP の果たしている意義は否定できませんが、問題があ

ることも事実です。一つには、OBP にて高血圧と判断される患者の中で約二〇%は普段の血圧は正常域ですが、医師の診察時には緊張により著明に血圧が上昇するいわゆる白衣高血圧であると推測されています。あなたも診察時に動悸 (ドキドキ) したことはありませんか? 医師が男前だったりとすると、この白衣高血圧においては、予後に関しても正常血圧者と比較して明らかに心・血管系疾患の増加を認められた成績は報告されていません。したがって、OBP を基準とした降圧療法が行われた場合にはむしろ過剰な降圧薬投与によるマイナスの面が懸念され

ます。また OBP がある程度真の血圧に近く、正確に測定できたとしてもそれ以外の時間帯の血圧については知ることができません。すなわち、二十四時間血圧がコントロールされているか、早朝の血圧上昇を抑制できているか、夜間における過大な降圧がないか、血圧の日内リズムを維持できるか、血圧の短時間の変動を抑制できるか、服薬の遅れ、忘れる患者においてもある程度、血圧がコントロールできているかなどであります。

## 外来待ち時間の 自動血圧測定

ABPM、HBP 測定が個人的事情や経済的問題でできない患者の外来血圧以外の血圧を知ることが目的として、外来待ち時間の連続自動血圧測定も試みられています。当院では、携帯用はありませんが、自動血圧計が処置室前に設置されていますので外来待ち時間に何度か測定してみてください、また、銀行や温泉、役場、福祉施設などに設置されている自動血圧計を積極的

に利用し、血圧の自己管理をしましょう。

## 家庭用血圧計による血圧自己モニターとして、 上腕用カフの機種

以上に述べたことから、高血圧の診断には OBP よりも ABPM を指標とするのが望ましいと考えられています。携帯式自動血圧計の装着は数多い高血圧患者に実施するには簡便でなく、保険の適用も認められていません。そこで現在、家庭用血圧計として多数の機種が市販されていますが、患者が自己測定した HBP の値をモニターすることに より ABPM に近い情報が得られることが期待されます。その際には当然のことながら家庭用血圧計の精度が問題となります。上腕用カフ、手首用カフ、指用カフの機種が家庭用血圧計の精度検定結果は上腕用カフの機種であれば水銀柱血圧計を用いた聴診法による測定値との相関は良好であり、収縮期血圧は  $1.0 \text{ mmHg}$ 、拡張期血圧も  $5 \text{ mmHg}$  程度の誤差範囲でした。これに

くらべて、手首用カフの機種は特に拡張期血圧について精度がやや劣り、指用カフの機種では収縮期血圧、拡張期血圧ともに誤差が大きかったのです。したがって、家庭用血圧計による血圧自己モニターとして、上腕用カフの機種を推奨します。当院ではパンフレットの用意もありますので、購入の際はご相談ください。手とり足とり説明いたします。血圧も自己管理の時代です。

## 伝言板

◎届いています

一月四日

シヨッピングセンター

「ノア」の店内

赤い布製の財布

一月二十九日

シヨッピングセンター

「ノア」の店内

黒い財布

心当たりの方は、金木警察署 落とし物係まで。

◎係から

このコーナーを利用したい方は役場企画室まで。

# 戸籍の窓

おしあわせに

一月届出分

鈴木 鶴樹 (力男) 金木  
白川ひとみ (武昭) 金木  
荒井 直人 (ユキエ) 金木  
小野真由美 (民雄) 喜良市

おめでとう

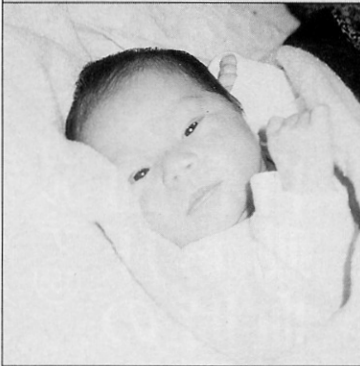
おくやみ

伊丸新二 (密博) 喜良市  
葛西 柊子 (光敏) 金木  
加藤 千尋 (博) 金木  
佐藤 文香 (仁) 金木  
吉崎 ルエ (56才) 嘉瀬  
秋田谷 久子 (50才) 金木  
山中 文藏 (78才) 嘉瀬  
白瀬 孝友 (70才) 金木

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

三上 トクエ (65才) 喜良市  
櫻庭 ナミ (84才) 喜良市  
古川 孝治 (47才) 喜良市

## はじめまして



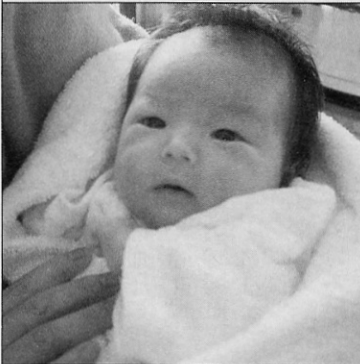
とう 子  
柊

おねえちゃん、おにいちゃん  
かわいがってネ! (父 光敏より)



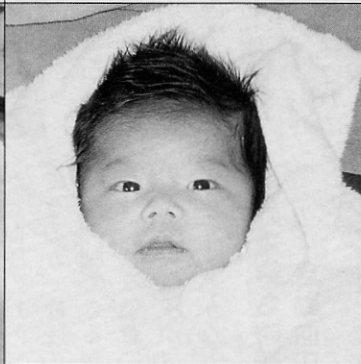
しん じ  
新 二

兄弟3人仲良く元気に  
(母 智里より)



あや か  
文 香

明るく優しくかわいくね  
あやか! (母 美加より)

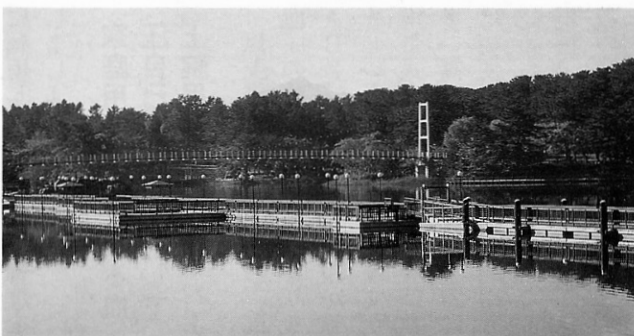


ち ひろ  
千 尋

明るく素直な子に育ってほしい  
(母 三千代より)

## 人口と世帯

	1月末現在	前年同月比
男	5,837人	△ 33人
女	6,419人	△ 36人
計	12,256人	△ 69人
世帯数	3,942	12



### ふるさと眺望点

## 県立芦野公園

県が指定する「ふるさと眺望点」にこのほど、金木町から「県立芦野公園」が選ばれました。

芦野公園は、日本さくらの名所百選にも選ばれ、芦野湖に優雅に浮かぶ「芦野夢の浮橋」や桜松橋があり、そして遠くには岩木山を望み、町民に最も親しまれている場所でもあります。

あなたの善意  
ありがとう  
ございました

▼社会福祉協議会へ(敬称略)

↳福祉のために

●五所川原ヤクルト親交会

八、〇〇〇円

●金木町職員組合(執行委員

長 〓秋元建一) 組合ポリー

グ大会・チャリティー募金

二六、九八六円

●角田正男(本町)

日本傷疾軍人会・特別功

賞受賞記念

一〇〇、〇〇〇円